

2019年度

熊本市児童発達支援センター等機能強化事業 活動報告

児童発達支援センター 済生会なでしこ園

機能強化員 山田 美輝

機能強化事業の概要

目的

障がいや障がいのある児童、その保護者における生活を支えるため、身近な地域での療育体制を確保するとともに、これらを支援する圏域の療育機能と重層的な連携を図ること

運営体制

2019年度は、3カ所の児童発達支援センターから1ヶ所をモデル事業として実施

- ・ 機能強化員を1名配置
- ・ 有資格者（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉士等）であって、障害児療育に5年以上従事したもの

1. 機能強化事業の3つの役割

(1) 巡回訪問

- ・ 障がい児通所支援事業所の活動状況の把握
- ・ 情報共有、情報発信
- ・ 5～12月：延べ59回（初回29 2回目以降30）

① 対象

南区内の障がい児通所支援事業所（29か所）

（児童発達支援、及び放課後等デイサービス事業所）

② 内容

- ・ 各ガイドラインの理解、運用、支援計画の確認と助言
- ・ 事業所間連携、研修の要望等の把握
- ・ 南区の地域支援、連携の方向性の検討

(2) 障害児等療育支援事業 (延べ32件)

地域における障がい児や障がいの疑いのある児童（主に、障がい児通所支援の受給者証未所得の児童）等またはその保護者に対して相談支援や助言を行う

相談者	紹介先	対象児	相談内容
母親	熊本市子ども発達支援センター	3歳 自閉スペクトラム症	3か月ほど前に熊本市の相談機関で診断を受けた。事業所の一覧をもらったが診断に対して整理がつかず、事業所をどう選んでよいか分からない。
母親		6歳 自閉スペクトラム症疑い 場面緘黙疑い	昨年、熊本市の相談機関に偏食と言葉に関する相談をした。心配ならと事業所一覧をもらった。今も偏食があり、限られた場面でしか話さない。本人は就学児健診前になり泣いている。どうしてよいか分からない。
母親	子ども園	4歳 自閉スペクトラム症疑い	子ども園の先生から園で大変だと言われた。家では困っていない。

(3) 療育に関する研修会実施

支援者基礎研修（12月15日 於 ウェルパル） 61名参加

講義『育ちを支える生活の工夫』

(4) その他

- ・ 子ども発達支援センター開催のペアレントトレーニング参加
- ・ 自立支援協議会子ども部会参加 月1回
- ・ 自立支援協議会相談支援部会参加 5月 6月 12月
- ・ 熊本市発達障害者支援地域協議会参加 9月

2. 障がい児通所支援事業所（南区）の課題

(1) ガイドラインの理解と運用

① 支援に関する課題（アセスメント実施 34%）

発達に関する客観的分析（アセスメント）が十分でなく、より個別化された対応への視点が必要

② 支援計画に関する課題

- ・ガイドラインの3つの柱（発達支援、家族支援、地域支援）において特に家族支援や地域支援への意識が不十分（全て記載 28%）
- ・身体拘束に関する未説明、未記載（記載 17%）

(2) 連携

① 事業所間の連携

- ・ 互いの支援内容の共有化
- ・ 利用時間、頻度の偏りと併用利用

② 相談支援事業所

- ・ 支援の全体像の把握
- ・ **担当者会議**の日程調整

③ 地域（保育所等、学校）

- ・ **保育所等訪問支援事業**の理解と機能
- ・ 放課後等デイサービス事業に対する学校間の対応の格差
- ・ **不登校児**への対応（学校の代替機能）

(3) 専門性の確保

① 職種の偏り

- ・ 多職種の連携
- ・ 医療的ケア
- ・ フォーマルアセスメントの理解

* 事業所数

保育士	児童指導員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	准看護師	心理士	音楽療法士	その他
24	16	6	5	5	3	3	2	1	8

② 対象児（障がい種別）の偏り

- ・ 障がい児支援（児童の保育、教育等）の経験
- ・ 物理的環境

* 事業所数

発達 *合併含む	身体	知的	強度行動	重症心身	その他
29	14	7	1	1	4

3. 課題に対する今後の取り組み

課題（1）ガイドラインの理解と運用

○ 2019年11月～**定例会準備委員会**開催（月1）

参加者：当センター(機能強化員、児童発達支援管理責任者)

南区の4事業所の児童発達支援管理責任者

○ 2020年度～**南区児童発達支援管理責任者定例会**

目的：ガイドラインに基づく支援計画への理解を深める

内容：支援の現状認識と補完ガイドラインに沿った利用者中心の
支援計画の理解

課題（2）連携

○ 2020年度～南区児童発達支援管理責任者定例会

目的：南区事業所の活動内容理解と関係づくり

○ 2020年度～保育所等訪問支援員連絡会

目的：訪問支援に関する情報共有、相談の場の提供

課題（3）専門性の確保

○ 2020年度～当センター主催支援者研修“なでしこゼミナール”（年2） の企画、運営協力

目的：事業所や保育所等における支援者の専門性の向上

○ 2020年度～保育所等訪問支援員連絡会

目的：手引きの確認と支援計画に基づく訪問支援の検討

課題（４）障がい児等療育支援事業の二一ズ把握

○ 2020年度～当センターにおける相談日、及び時間設定と**広報・周知**

目的：相談日時^の明確化と確保

児童、または保護者の不安や困難さへの早期対応

保育所等からの相談対応、及び支援機関や就学相談への繋ぎ

○ 相談機関（子ども発達支援センター、教育相談室）への現状報告

目的：課題共有

- ・ 支援に繋がらないケースの経過
- ・ 事業所利用開始前（事業所一覧を渡された後の手順）
- ・ 就学前の移行支援時（関係機関の説明の相違）

4. 機能強化事業の展望

障がいや障がいの疑いのある児童、保護者が、身近な地域でより質の高い支援を受ける体制を充実させる